

## 会 議 録

会 議 名	平成 26 年度 第 3 回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成 26 年 8 月 7 日 (木) 13 : 00 ~ 17 : 00
開催場所	丸亀市役所 別館 5 階第 1 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡本 恵子    金    永子    黒田 英津子    日野 明世 森    茂    石原 茂    仁科 清    早馬 倫代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">市長公室長    山田 哲也    政策課長    小山 隆史 政策課副課長 渡辺 研介    政策課主査 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 所管課ヒアリング</p> <p>2. その他</p> <p style="text-align: center;">会議終了後、丸亀市総合運動公園丸亀市民球場を現地視察</p>
傍聴者	1 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
小山政策課長	<p>ただ今より、第 3 回目の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。次第にありますとおり、本日、明日と 2 日間に渡りまして、所管課ヒアリングとなっておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>ヒアリングに入る前に、本日配布しております会議資料を確認します。</p> <p style="text-align: center;">＜配布資料の確認＞</p> <p>では、資料について、担当から説明します。</p>
政策課真鍋	＜資料について説明＞
小山政策課長	以後の議事につきましては、会長に議長をお願いします。
金会長	<p>本日、明日と 2 日間の所管課ヒアリングは大変だと思いますが、重要な作業となりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>今回のヒアリングのやり方について確認しておきますが、まず、事業所管課からの事業説明を受けた後に質疑応答に入りたいと思います。また、質疑については、時間が限られていることでもありますので、できるだけ一問一答ではなく、いくつかの質問にまとめて答えてもらうこととします。</p> <p>他に委員から確認しておきたいことはありませんか。</p> <p>ないようなので、早速、ヒアリングに入りたいと思います。所管課より事業説明をお願いします。</p>

文化観光課	<p>事業No.1 文化芸術振興事業費 (ヒアリングに出席した文化観光課職員)</p> <p>課長 谷渕 寿人 副課長 高畑 正弘 文化振興担当長 後藤 幸功 主査 近藤 光洋</p> <p>&lt;資料に基づき事業説明&gt;</p>
岡本委員	<p>資料にある各事業費と決算見込の事業費が一致しませんが、その差は何ですか。また、支出先の1つである文化振興事業協議会とはどのような組織なのですか。</p>
森副会長	<p>文化振興事業への参加者は前年度と比較してどうですか。</p>
黒田委員	<p>文化協会育成補助金の中にあやうたふるさとまつりに対する補助が含まれているようですが、観光振興事業費にもあやうたふるさとまつりに対する補助があります。同じような補助が2ヶ所から出ているのですか。</p>
文化観光課近藤	<p>1点目の質問については、消耗品費や通信運搬費などの細々とした事務費は、資料から除いているので一致していません。</p> <p>文化振興事業協議会は、文化協会をはじめ14団体からの推薦を受けた者で構成しており、市からの委託や補助を受けて、様々な文化事業を実施している団体です。</p>
岡本委員	<p>文化振興事業業務委託料は人件費のようですが、どのような中身ですか。</p>
文化観光課高畑	<p>文化観光課内の事務局で事務員1名雇用しており、各種文化事業の企画立案や調整などを担っています。</p>
文化観光課後藤	<p>文化振興事業への参加者数ですが、トータルの数字は持ち合わせていません。個別の事業ですと、24年度と25年度で、地域文化出前教室は同じ300人、文化財活用事業は100人から70人、学校音楽教室は1460人から2170人、第九プレコンサートは150人から160人、若手芸術家支援事業は2870人から679人となっています。開催時期や当日の天候の影響もあり、大きく推移している事業もあります。</p>
文化観光課高畑	<p>あやうたふるさとまつりへの補助については、まつり本体に対しては、業務委託料として観光振興事業費から出ていますが、アイレックス内などの一部の文化関連事業については、文化振興事業費から出しています。</p>

仁科委員	第九プレコンサートでは、チケット収入などはないのですか。
文化観光課近藤	チケット収入があるのは、別団体が行っている第九コンサートであり、その宣伝イベントであるプレコンサートでは収入はありません。
岡本委員	補助金に占める人件費の割合が多いのですが、それが事業補助であったり、運営補助であったりしています。事業を実施するための補助か、団体を運営するための補助なのかを明確化する必要があると感じます。
谷淵文化観光課長	来年度以降、予算編成の段階で、明確化に努めたいと思います。
石原委員	委託料か補助金かは、どのような線引きがされていますか。また、金額はどのように決まり、余った場合は返還されるのですか。
文化観光課高畑	自由度が高い方が良い場合は補助金にするなど、事業内容を見て、委託か補助かを決めています。また、金額については、必要となる人件費や事業費などを積算した上で決定し、事業補助の場合は、精算して余れば返還となります。
金会長	委託の場合は、どのくらい任せられるようになるのですか、文化観光課の意見はどのように反映できるのですか。
文化観光課高畑	文化観光課の意見は、極力、委託内容に反映させていますので、委託先に任せるのは、事業実施の部分になります。最近、特に大きなイベントでは、参加者アンケートを取るようしており、その分析を委託内容に生かすとともに、委託先にも伝えていきます。
黒田委員	事業の企画立案の意思決定はどこがするのですか。
文化観光課高畑	委託の場合は、市が決定しますが、補助金で事業を行う場合は、市の意見等も踏まえた上で、最終的には補助先が決定しています。
金会長	他に質問もないようなので、ここで本事業のヒアリングを終わります。
	<p>事業No.2 生涯スポーツ推進事業費  (ヒアリングに出席したスポーツ推進課職員)</p> <p>課長 大野 順平 副課長 徳田 明香  担当長 高倉 鋭悟 主事 小山 麻子</p>

スポーツ推進課	<資料に基づき事業説明>
岡本委員	1472万円の運営補助金はすべて人件費に充てられていると思いますが、指定管理業務の人件費も指定管理料に含まれていることを考えると、体協の人件費はすべて市が賄っているのですか。
スポーツ推進課徳田	ほぼ、市からの補助金や委託料で賄われています。
岡本委員	指定管理業務を請け負うなど以前と比べて大きくなった体協の実態は、どのようになっているのでしょうか。
仁科委員	体協のスタッフに市OBが入ることはあるのですか。
大野スポーツ推進課長	体協の役割としては、市内のスポーツの総括団体ということで、広域的な視点に立った生涯スポーツの普及や振興、地域住民との連携などまとめる役割を担っています。その中で、市としては事業補助と運営補助の2本立てで援助を行っています。市OBのスタッフについては、かつては体協の事務局長を市OBが務めていましたが、現在は施設管理人に1人いるだけです。
仁科委員	優先的に採用しているのですか。
スポーツ推進課徳田	いいえ、公募したところに応募があり、採用したとのことでした。
金会長	昨年度の新規事業の効果や反響はどうですか。
スポーツ推進課徳田	ノルディックウォーキング初心者教室36人、親子元気アップ事業24人、チャレンジデー48144人、体力テスト80人などそれぞれの事業に多くの人たちに参加いただきました。それらの参加者へのアンケートを見ても、好評を得ていると感じています。
岡本委員	今、説明された事業は、スポーツ愛好家向けではなく、市民の体力アップなどの健康志向に応える身近なスポーツの普及事業であり、市民ニーズに合う良い取組であると感じます。これからも、スポーツ推進課の事業としては、スポーツに係わっていない一般市民も長く健康でいられるためのスポーツの普及に目を向けて、もっと増強して取り組んで欲しいと思います。

スポーツ推進課徳田	<p>スポーツ振興ビジョンの策定を機に、体協とも連携しながら、健康増進の取組を強化しています。これからも、その方向性で、体協を良きパートナーとして取り組んでいきたいと考えています。</p>
金会長	<p>他に質問もないようなので、以上で本事業のヒアリングを終わります。</p> <p>事業No.3-① 児童・生徒指導推進費  事業No.3-② 児童・生徒指導充実費  事業No.3-③ いじめ等対策事業費  (ヒアリングに出席した学校教育課職員)</p> <p style="text-align: center;">課長 木谷 直充 学校教育サポート室長 西川 昌宏  指導主事 香川 隆博 指導主事 富家 正徳</p>
学校教育課	<p>&lt;資料に基づき事業説明&gt;</p>
岡本委員	<p>教育支援センターゆうゆうはどこにあるのですか。また、どのような体制で子どもを見ているのですか。</p>
学校教育課香川	<p>生涯学習センターの2階にあり、専属の指導員3名が配置されています。</p>
岡本委員	<p>いつからあるのですか。当初と今では、どのような変化がありましたか。</p>
学校教育課富家	<p>平成6年からあります。当時は県の事業であり、県下どこでも同じような取組しかしていませんでした。また、指導員1名体制であったため、取組にも限界がありました。今は、県の補助がなくなったため、各自治体で独自の取組を進めており、専属指導員も3名まで増えておりますので、段々と充実して、良い方向に変化しています。</p>
森副会長	<p>いじめの件数について、各学校での統計などはとっていますか。</p>
学校教育課香川	<p>国が毎年調査しています。件数としては、平成22年度前後をピークに減少傾向にあります。</p>
金会長	<p>不登校については、どうですか。</p>

学校教育課香川	現状では、中学生になると急増する傾向にあります。全体数としては、平成21年度をピークに平成24年度までは減少していましたが、平成25年度は僅かながら増加しました。
黒田委員	「児童・生徒指導推進費」と「児童・生徒指導充実費」の事業の違いは何ですか。
学校教育課香川	「児童・生徒指導推進費」は、非行関係や不登校への対応が中心になり、「児童・生徒指導充実費」は、特別支援や発達障害への対応が中心となりますので、ターゲットが異なります。
岡本委員	12学級以上の市内11小学校にスクールカウンセラーを配置しているとありますが、それ以外の小学校には配置していないのですか。
学校教育課香川	12学級未満の小学校へは、中学校に配置されているスクールカウンセラーが派遣されています。一応、すべての小学校にスクールカウンセラーが居る体制ができています。
金会長	不登校や虐待やいじめなど様々な問題について、子どもの内面的なケアが主となるスクールカウンセラーだけで対応するのは難しいと思いますし、月1回のカウンセリングでは少ないように感じます。スクールソーシャルワーカーの配置などさらなる体制整備について、どのように考えていますか。
学校教育課香川	県の事業でスクールソーシャルワーカーの配置がありますが、数が少なく、確保が難しい状況です。
木谷学校教育課長	今年度、新たに組織した学校教育サポート室にはスクールソーシャルワーカー1名を委嘱しており、何かあれば行ってもらえるようにはしています。
金会長	スクールソーシャルワーカーは資格が必要なものではないので、人材の発掘や研修などによって、育成していくことも大切だと思います。
石原委員	問題を抱える生徒について、中学校卒業後はどのように対応するのですか。
学校教育課香川	中学校と高校との情報交換会や県の中高生徒指導連絡会で中学校から情報提供をしています。
仁科委員	個人情報保護の観点から、中学校から高校へ情報を流しても良いのですか。

学校教育課香川	守秘義務はありますので、原則として、学習指導要領に基づく調査票を作成して、中学校から高校に渡します。その他に伝えておかなければならないことは先のような会議で伝えます。
岡本委員	スマートフォン等の問題に関しては、たいへん大きな問題と捉えて取り組んでいることが伺えますが、ここ2年間飛躍的に増加している子どもの所有率や生活の中での必要性から考えると、所有や使用の制限は難しいと思いますので、早い時期からスマートフォンやインターネットの持つ危険性を啓発して、子どもたちが危ない目に遭わず、上手く活用できるよう教えることに力を入れて欲しいと思います。また、発達障害児に関する丸亀市の取組は、他自治体になく素晴らしい取組なので、もっともっと充実させて、続けていって欲しいと思います。
早馬委員	発達障害については、民間の病院などでも相談が多く、すぐには診察を受けられないような状況もあるようですが、8名の巡回カウンセラーで足りているのでしょうか。また、学校に決められた日時にカウンセリングに行くことで、周囲に知られる心配があり、一歩を踏み出しにくいのではないかと感じますが、いかがでしょうか。
学校教育課西川	8名のカウンセラーは、小中学校だけでなく、幼稚園、保育所も含めて非常に力を入れて取り組んでおり、NPO等との連携も取りながら対応していますが、最近はニーズが増えており、今の人数では難しくなっていることは事実です。また、カウンセリングについては、最近の状況を見て、個別対応の必要性を感じておりましたので、個別対応が可能となるよう見直したところです。
早馬委員	その点の情報は発信していますか。
学校教育課西川	見直したところであり、十分に学校に伝わっていないところもあると思いますので、再度、学校に周知するようにします。
金会長	他にないようですので、これで本事業のヒアリングを終了します。
金会長	本日のヒアリングは終わりましたが、事務局からその他で何かありますか。
政策課真鍋	<事務連絡>
金会長	それでは、本日の会議はこれで終わります。お疲れ様でした。  <会議終了後、丸亀市総合運動公園丸亀市民球場を現地視察>